

## 令和5年度 第2回海老名市下水道運営審議会会議結果

開催日時等	令和6年1月19日（金）13:30～15:00 市役所6階 議員全員協議会室		
出席委員 ◎会長 ○副会長	◎古河 伸夫    ○福田 修    竹下 敏郎    大谷 澄子    志村 小夜子 氏家 康太    星野 隆一郎    萩原 修正		委員10名中8名出席
事務局	理事兼まちづくり部長 理事（都市・建設担当） まちづくり部次長（都市担当） まちづくり部次長（建設担当） まちづくり部参事（下水道会計担当） 下水道課長 下水道課管路施設担当課長 下水道課主幹兼業務係長 管路施設係長 経営係長 管路施設係主任主事 経営係主任主事 経営係主任主事	谷澤 康德 松本 潤朗 清田 聡 佐藤 秀之 石黒 貴博 川崎 宗一 稲子 幹人 澤田 真理 齋藤 雄一 中嶋 純一 桃原 裕介 大乘 文哉 原 沙織	
公開の可否	公開	傍聴者数	0名
議事結果	<p>1 議題</p> <p>(1) 海老名市公共下水道事業経営戦略の改定について</p> <p>・海老名市公共下水道事業経営戦略改定における投資・財政計画や経営戦略の概要について、【資料1-1】及び【資料1-2】を基に事務局より説明を行った。</p> <p>【質問①】</p> <p>・雨水管の整備はやらなければならない事業なのか。 家の近くの踏切は整備の必要がなかったと思う。</p> <p>【回答①】</p> <p>・雨水管がないと、道路が冠水したり、地形が低いところにある住宅の床上浸水につながる恐れもある。 その踏切は以前から坂上からの雨水により踏切内が冠水し、電車が徐行したり停止するなど安全な運行に支障が出ていたため、雨水整備を行った経緯はある。 また、並木橋の近くの道では昔から雨が降るたびに道路冠水を起こしていたが、雨水管を整備したことで被害を防ぐことができている。</p> <p>【質問②】</p> <p>・可とう性継手の設置等について、対象箇所はどのくらいあるのか。 下水道管とマンホールトイレについて、目標をもって進捗が分かるようにしてほしい。</p>		

**【回答②】**

- ・耐震化に関する工事は、神奈川県指定の緊急輸送道路への対策を優先しているところです。対象箇所は338箇所に対して、令和4年度末時点で約150箇所の耐震化を完了しており、約50%の対策状況となっている。一遍に進めることは難しいため順次進めている。期間としては、平成26年度から令和13年度までに完了させていく目標は立てている。地震対策については「海老名市公共下水道総合地震対策計画」というものを別途持っている。

(2) 海老名市雨水管理総合計画の策定について

- ・海老名市雨水管理総合計画（案）について概要や今後のスケジュールについて、【資料2-1】及び【資料2-2】を基に事務局より説明を行った。

**【質問①】**

- ・令和元年の台風19号のときの記録は残っているのか。
- ・このシミュレーションで赤く塗られている部分の方々が逃げたという話は聞いたことがない。

**【回答①】**

- ・台風19号の記録は残っている。そういったものも含めて先ほどのシミュレーションについても実際の被害状況と見比べて、シミュレーションの精度を向上させていく作業を行っている。
- ・今回対策するエリアを決めていくにあたって、市内全域をブロック分けしていますので、赤く塗られている部分の全域が浸水するわけではなく、そのブロックの中に浸水するところが含まれていると理解していただきたい。

**【質問②】**

- ・危機管理課が出しているハザードマップにはこの表はないのか。
- ・策定後、改めて市民へハザードマップを配布するのか。

**【回答②】**

- ・ハザードマップに掲載されているものは降雨量が異なる。ハザードマップには関東エリアで想定される最大の降雨量である153ミリでシミュレーション結果が掲載されている。この153ミリは実際に千葉県で起こった降雨である。
- ・海老名市防災ガイドマップ内のハザードマップには、すでにシミュレーション結果を織り込み済みのため改めて配布の予定はない。

**【質問③】**

- ・この浸水地域は、洪水ではなく内水の分野なのか。

**【回答③】**

- ・内水の分野です。洪水というと川が氾濫することですが、内水は川が氾濫しているわけではなく地形的な要因により浸水する。

**【質問④】**

- ・計画期間を20年にしている理由はなぜか。

**【回答④】**

- ・国土交通省から計画策定のガイドラインが出ている中で目安として20年というスパンが示されている。浸水対策は費用も時間もかかるので短期的なスパンではなく、20年という長期的なスパンの中で計画を立てて実施していくという考え方のもと設けた。5年に一度見直すことで、その都度見直しを図ってより効果的に整備を進めていくことを考えている。

2 その他

- ・事務局より次回の審議会開催日程について連絡した。

以上